

哲學研究

第六卷 第六册
第三十六號

大正十年六月一日發行



大正五年四月六日第三種郵便物認可
大正十年五月二十七日印刷納本(毎月一回一日發行)

道德の特質に就いて……………文學博士 西 晋一郎

認識主觀の問題(承前)……………文學博士 田 邊 元

繪畫の對象……………文學士 植 田 壽 藏

合理性對非合理性の問題を通じて觀たる『極限概念

の哲學』(完)……………法學博士 左右田 喜一郎

彙報……………

京都帝國大學文學部
京都哲學會



學界近況

ライプチヒより

左の通信は千葉助教授より心理學讀書會に宛て、寄せられしもの、同會の承諾を得て此處へ出すことにした。

上畧。本月中(二月)に大學教授の大移動有之候由に候が、目下の處心理學の方は伯林にストウンプ教授あるも、停年制にて近く退隱する筈ゲツチンゲンに、ミュラー、クライフスワルドに、レムケ兩老教授依然舊の如くフランクフルトには矢張シユマン教授あり、ケラー兩氏之を輔けボンにテイロツフ氏、ウイエルツアルプにマルベ氏、ケーニグスアルグにアツハ氏教授たる事も變り之なく、唯だミユンヘンのビュローラ氏の消息不明少壯ベツヘル氏教授の任にある意外の感有之候、尙ライプチヒにはエナのクリューゲル氏、ザントの後を襲ひて正教授の地位にあり、ウイエルト、クレム兩氏員外教授たり、講師に少壯なるキルヒマン氏有之候、而してクリューゲル氏の後にはチーエン教授其任にあるやに聞及候、因にマイノング教授物故されし由に候が如何にも残念に候、機を見てクリューゲル教授を訪問都合によりてはフランクフルトにシユーマン教授に面語を得るの期有之べし、起居候應用方面も可成考究せられ居るもの、如く本日、ベルリッテル、タロゲブラツトにも、ベルリン市に於て中學及女學校の入学に心理學的試験を適用せる記事相見候下略。

彙報

京都哲學會春期公開講演會

五月一日午後一時半より法學部第一教室にて開會、左の講演を行へり

倫理に就いて 文學博士 西晉一耶君
繪畫の對象 文學士 植田壽藏君
講演後學生集會場にて晚餐會を開催、入浴中なりし石原謙博士も出席せられたり。

倫理學會

五月二十日午後五時より學生集會場にて左の講演を開催せり
道德の基礎としての個人、國家及び社會 文學士 十時 彌君

寄贈書籍雜誌

哲學雜誌、丁酉倫理講演集、心理研究、東洋哲學、日華公論、文化運動、學校教育、教育、内外教育評論、教育學術界、教育界、教育研究、教育時論、都市教育

シタムライ

法律及法律學の本質

文學士 中島慎一 講

ウインデルバンド

文學士 大村書店

日蓮宗歴史

文學士 佐竹哲雄 講
大村書店
影山堯雄 著
同融社

前 號 目 次

プラトーの美學(承前).....	文學博士 深 田 康 算
合理性對非合理性の問題を通じて觀たる「極限概念の哲學」(承前).....
.....	法學博士 左右田 喜一郎
社會的教育學の概念.....	文學士 篠 原 助 市
救濟の論理.....	文學士 久 松 真 一
精神物理學上の二三の問題に就いて.....	文學士 岩 井 勝 二 郎
學界近況、彙報.....

告 會

一、本會へ入會希望ノ方ハ直接本會宛テニ規定ノ會費(前表紙裏ニアリ)御納付ノ上御申込被下度候
 一、會員ニシテ轉居ノ節ハ直チニ其旨御報知被下度候
 一、會費ハ振替口座大阪參〇六六番、京都哲學會宛テニ御拂込被下度候
 一、本誌ノ編輯ニ關スル通信及紹介・新刊書・交換雜誌等ハ凡テ本會宛テニ御發送被下度候

京都帝國大學
 文學部内
京都哲學會
 振替口座大阪參〇六六番

定 規 文 註

◎會員にあらざる講讀者の御註文及び廣告に關する件は内
外出版株式會社へ御申込下され度候
 ◎本誌の御註文はすべて代金郵税共前金にて御送り下さるべく候
 ◎振替貯金にて御送金は**振替大阪三二九五番**内外出版株式會社宛に願上候
 ◎前金切れの場合は帶封に「前金切」の印章捺捺致すべきに付直に御拂込下され度候
 ◎特に請求書及領收書等を要する場合は郵券參錢御送付下され度候

價 定

冊	數	定	價	一 郵	稅
一冊	冊	金四拾錢	金一	壹	錢
六冊	冊	金貳圓四拾錢	金	壹	錢
十二冊	冊	金四圓八拾錢	金	壹	錢

廣告料

一頁 金貳拾圓 半頁ハ取扱不申

大正十年五月二十七日印刷納本
 大正十年六月一日發行

第六十三號 第六卷

不許複製
 禁轉載

編輯者 京都帝國大學文學部内
 右代表者 實嚴方夫

發行者 大谷仁兵衛

印刷者 須磨勘兵衛

印刷所 內外出版株式會社印刷部

發行所

京都市下京區 北小路新町西
 內外出版株式會社
 振替口座大阪三二九五番

發賣元

京都市下京區北小路通新町西
 十番地內外出版株式會社
 振替口座大阪三二九五番

賣捌所

(東京) 東京堂、東海堂、北隆館、
 上田屋、(大阪) 盛文館、三文社
 (神戸) 寶文館、川瀬書店
 (京都) 共盛社

同志社大學
法學部教授

法學士

瀨谷佐次郎先生著

新刊

經濟原論

國家死活に關する各種の經濟問題、一家興亡の因つて岐る、企業經營の原理原則は、一般經濟現象の學理を修めたる後に非ざれば、之を明らかにすべからず、然るに前者に關する論著のみ多くして後者の研究殆んど現はれざる今日、『自由の學府』同志社大學より瀨谷教授の原論出づ、新たなる編別により新たなる研究を發表す、行文暢達理路整然、必ずしも學說を陳列せずして書中獨據の見るべきものあり、謹みて眞の世を思ひ、學を愛する士に一本を薦む。

定價 四圓也
菊判四百五十頁
パピリン美裝
郵稅拾八錢

社會式株版出外内

（版穴座口替振）ル上條七町新市部京
番五五九貳參

所行發

店書瀨川 屋古名 堂海東 堂京東 閣斐有 京東 善丸 所賣發
館文寶 堂進日瀨川 戶神 社音福 館文盛 阪大